



《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 玉名市横島町いちごマラソン大会事業	補助金を大会実行委員会に交付し、大会開催の支援を行う。	開催回数	回	1	1	1	1
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 大会参加者数	参加者数	人	4,000	4,000	4,000	5,000
			5,723	7,047	6,514	
2 市外参加者数	玉名市外からの参加者数	人	3,000	3,000	3,000	4,000
			5,016	6,217	5,755	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	参加者の健康促進や特産品PRの場がなくなり、継続が必要である。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	旧横島町で実施していたマラソン大会を引き継いでいるため、内容も市町合併前とあまり変わっていない。もっと玉名市のイベントとして、玉名市全体をPRできる大会になるような検討が必要である。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	参加料が他のマラソン大会と比べると低額であり、参加料の増額が可能と考える。このことにより事業費に余裕ができれば、補助金交付額の見直しや施設の改善などの検討もできる。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	参加料の増額を検討する。

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	参加受付方法及び抽選会商品(玉名温泉招待券や玉名ブランド認定品の導入)の見直しとともに、参加料増額及び大会スポンサーの募集により大会運営経費の増収を図る。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	横島町の特産品である"いちご"のPRと本市における地域に根付いた代表的なスポーツイベントであることから、引き続き事業を推進していく。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	--	----------------